

子育て支援と高齢者支援について

子育て支援について

【質問】 2040年「消滅可能性都市」が公表されたが、人口減を食いとめるには周産期の支援が重要なことから、妊娠・出産包括支援モデル事業について伺います。

【答】 ①妊産婦等の支援ニーズに応じ、必要な支援につなぐ母子保健コーディネーターの配置②妊産婦の孤立感や不安解消のための産前産後サポート③産科からの退院直後の母子に対して心身のケアや育児サポートを実施する産後ケアの3つの事業からなります。

【質問】 助産所等子育て支援施設の考えは。

【答】 本市では周産期の妊

向井 誠 議員

産婦や乳児に対する支援を最重要課題の一つとして、妊娠・出産包括支援モデル事業の実施に向け、館林厚生病院や施術可能な助産師と調整をしております。将来的にはトータルケアを実施するシステム、あるいは拠点施設の建設も視野に入

れながら、安心して産み育てられるまちづくりを推進してまいります。

【質問】 乳児のロタウイルスワクチンとB型肝炎ワクチンの予防接種の費用助成に

ついでの考えは。

【答】 国においても、2つの予防接種を定期接種に移行するか否かの検討が行われており、副反応作用の問題等を勘案しながら国の動向も十分見きわめて補助等を検討してまいります。

高齢者支援について

【質問】 地域包括ケアシステムの概要について伺います。

【答】 住みなれた地域で生活を継続できるよう必要な支援を包括的に行う目的で地域包括ケア会議を立ち上

げ、個々に応じた支援の方法や情報交換等を行い、医療や介護の連携も図り、職種による顔の見える関係づくりを進めております。

【質問】 地域包括ケアを一元的に取り組む推進室のような部署を設置する考えは。

【答】 高齢者が増加していく中で、地域包括ケアの推進を図ることは急務であると考えており、組織機構の見直しの機会等に合わせまして、関係部署と協議してまいります。

地域医療の再生について

篠木 正明 議員

【質問】 邑楽館林の地域医療の現状を考えた場合、特に救急医療や夜間診療、産科、小児科の診療体制をどう強化するのが課題です。12月から厚生病院の新病棟で診療が開始になる予定ですが、診療体制はどうなり

すか。

【答】 現在休診中の3診療

科の再開は大変厳しい状況になっていきます。

【質問】 産科や小児科などの入院診療再開の見通しが立っていない中でも、どう地域医療を守っていくかが重要です。これまでも両毛広域での医療連携やかかりつけ医の推奨などの取り組みを行っていますが、現状は

どうなっていますか。
また厚生病院の中に夜間急病診療所を入れる考えはないのですか。

【答】 両毛6市には5つの医療関係の協議会がありま

す。それらで医者や行政関係者、住民の方も含めた中で医療連携などの話し合いをしています。夜間急病診療所を厚生病院内に入れることについては、厚生病院と協議をしています。

【質問】 地域医療の再生は、行政、医療関係者、市民が

一つになって取り組むことのできる課題です。それを進めるには相互理解が必要です。地域医療を守る市民団体の活動を支援してい

きたいとの話もありましたが、市としても市民に理解を求める活動が必要だと思

いますが、どう考えていますか。
【答】 市民のつどいの中で、市民への周知をしています。市民の思いをしっかりと受けとめて、医師の確保などに

取り組んでいきたいと思

【質問】 地域医療の再生についての市長の考えをお伺い

します。
【答】 現状の改善のため、妊娠出産包括支援モデル事業を実施します。今後も少しでも効果が期待できるものは、積極的に取り入れていきたいと考えています。これからも医師確保など地域医療の再生のために努力を重ねてまいります。